

## ～ジェンダー平等講演会が行われました～

2023年度 豊中市立第十二中学校 50期生 2/14 発行

2年学年だより 第35号



## レクリエーション大会 第2弾!



1月24日(水)の6限に、レクリエーション大会(ドッチボール)が行われました。気になる試合結果は…優勝2組B 2位1組B 3位2組A でした!おめでとう!2組は欠席が多い中、全員で協力して勝利を勝ち取っていました。また1組、3組も試合を重ねるごとに、戦略を立て、声を掛け合っている姿が見られました。どのクラスもいい試合でしたね。2学期に引き続き、体育委員さんが企画し、休み時間や放課後も「50期生が協力し楽しめる大会にしよう」と頑張ってくれました。また有志で審判をしてくれた人もいました。ありがとう!そのおかげで、白熱した試合になり、応援の声が響き渡る、笑顔あふれる大会になりました。大会が終わった後、「楽しかった!またやりたい!」との声が多く聞こえました。次は3年生になって、新しいクラスでのレクリエーション大会になると思います。次回も50期生の良さが溢れる大会になるといいですね。

1月31日(水)の6限に、講師の岡笑叶さんをお招きしてジェンダー平等講演会を行いました。笑叶さんが学校生活を過ごす中で、成長と共に、男女の性別によって様々な違いに直面し、困ったこと、悩んだこととお話してくださいました。講演の中で、「LGBTQの人たちだけでなく、誰もがみんなマイノリティー(少数派)です。各々が、個性を持っています。その中に同じものはありません。自分は自分です。枠に当てはまらなくても、言葉に言い表せなくても大丈夫。その違いを認め合うために私たちにできることは、『知ること』『学ぶこと』です。」と私たちに伝えてくださいました。講演後も、「12中の生徒がとても真剣に話を聞いてくれたので、今日講演ができてよかったです。」とおっしゃられていました。この講演会がみなさんにとって、『知る・学ぶ』ための機会になったと思います。また振り返りでは、全員が講演を聞いてしっかりと自分の思いを書けていました。その中の一部(抜粋)を紹介したいと思います。

・LGBTQ って言葉は何回か聞いたことはあったけど、あまり意味を知らなくて今日聞いてLGBTQ とは何かということを知れた。男の子だからこれ、女の子だからこれ、みたいなルールで苦しんでいる人もいるんだなと知った。

・LGBTQ で悩んでいる人を SNS などで見たことがあったけど、具体的にどんなことで悩んでいるのか知らなかったのが、今日知ることができてよかった。「無理に枠にはまらなくてもいい」や「LGBTQ という言葉をなくしたい」という考えが世界に広まるといいなと思いました。

・自分の周りで色々なことに悩んでいる人がたくさんいて、それが自分について知ることができる初めの一歩ではないかと思いました。自分は自分、相手は相手と、自分も相手も認め合えるような世の中になるといいなと思いました。みんな違ってみんないい、一人ひとりの考えや意見を認められる自分になります。

・友達にカミングアウトした時の話では、自分が送った後、友達から来るメッセージの間の時間がとても不安の気持ちでいっぱいだったと聞き、もし自分の友達も同じように迷っていたら、励まし、安心させたいと思いました。

